

令和 7 年度 学校経営環境分析書

和庄中学校区 校番 15 学校名 呉市立長迫小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	O (支援的要因) 〈教育環境〉 ○ゲストティーチャー、登校見守り、地域防災等の学校行事への参加があり、学校支援の体制がある。 ○地域社会が落ち着いており、児童への優しい声かけがあり、支援が期待できる。 ○長迫小出身の保護者や地域の方が多く、学校に誇りをもっている。 〈小中一貫〉 * 小中一貫が充実し、4校に連携体制が整っている。	S (強み) 〈児童・生徒の実態〉 * 優しく穏やかな児童生徒が多い。 ○礼儀正しく、気持ちのよい挨拶(静止礼)ができる。 ○最高学年として「長迫お天気ステーション」「追悼式」等、目標にする姿を示す取組が充実している。 〈教職員集団〉 * 「チーム」としての意識が高く、協力して教育活動に取り組む。 ○小規模校ならではの機動性を発揮するとともに、一人一人に応じた細やかな指導を行っている。	内部環境	支援的要因と強みを生かした活動・取組は * 小中一貫教育を推進し、9年間を通して和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。 * 組織として主体的・協働的な学びを進め、学力向上を図る。 * 防災教育において、地域の特色を生かしたカリキュラムマップに基づいた実践を行う。 ○全教職員がベクトルを揃えて取り組む。 ○保護者・地域と連携・協働し、特色ある教育活動を進める(コミュニティ・スクールの推進)。
	T (阻害的要因) 〈地域環境〉 * 商業地域と住宅地が混在しており、児童生徒を取り巻く環境が多様化している。 * 交通量が多く、登下校での安全面で課題がある。 ○土石流並びに急傾斜地の特別警戒区域に指定されている箇所が多数ある。 ○運動場が狭いため、走る、投げる等の運動が制限される。 〈家庭環境〉 * 一部であるが、対応が長期化したり対応に困難さがあつたりする等、外部機関との連携が必要な場合がある。	W (弱み) 〈児童の実態〉 * 主体的に行動し、最後までやり切ることのできる児童生徒が少ない。 ○素直であるが自信がなく、自ら考えて行動する児童が少ない。 ○単学級のため、人間関係が固定化しがちである。 〈学校・教職員集団〉 ○校舎の配置から、望ましい教室配当ができず、学年間の連携がとりにくい。 ○学校施設の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が多い。	〈生徒指導の推進〉 * 9年間を見通した組織的な生徒指導を行う。 * 「和庄中学校区スピリット」の浸透に向けての取組を充実させる。 ○教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を構築する。 〈学力向上〉 * 和庄中学校区授業モデルによる授業づくりを行う。 ○本を読む、新聞を読むなど活字に触れる機会を多く設定する。 ○考えを話し合ったり発表したりする等、表現の機会を増やす。 ○ICTの効果的な活用を図る。 〈体力・運動能力の向上〉 * 「メディアコントロール」の取組により基本的生活習慣の定着を図る。 ○ストレッチタイム、元気っ子カードの取組の定着を図る。	阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

* 和庄中学校共通事項

2 重点課題

- 和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。
- ・基礎・基本を定着させ、「考える授業づくり」を実施し、思考力・判断力・表現力を育む。
 - ・地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践により、家庭を巻き込む防災教育の深化を図る。
 - ・「和庄中学校スピリット」に基づく児童を育成する。
 - ・基本的生活習慣の確立や体力・運動能力向上を図る。